



レーザー外来始めました

形成外科部長 水上 高秀

形成外科では2018年11月からレーザー外来を開始しました。使用するレーザーはQスイッチルビーレーザー*で、保険診療、自費診療ともに広く対象としています。

保険診療では、おもに先天性のアザ（異所性蒙古斑、太田母斑、扁平母斑など）が対象となります。アザの大きさによっては必要に応じて全身麻酔で行います。



カ丸形成外科医師（左） 水上形成外科部長（右）



Qスイッチレーザー（左）

治療の様子（右）

レーザー治療は、治療部位の大きさや範囲により違いはありますが、1部位あたり10～15分程度です。通常1回の治療で除去されますが、状態や範囲によっては2回以上の治療が必要な場合もあります。



シミ・そばかすなど表在性疾患の治療例(左:治療前 右:治療後)
(資料ご提供:虎ノ門病院)

自費診療では、後天性のシミが対象となります。同じシミでも効果のあるもの（老人性色素斑や雀卵斑）、効果のないもの（肝斑）がありますので、診察のうえで適応があるかどうかを判定します。

*Qスイッチルビーレーザー
周囲の正常な組織にはダメージを与えず、シミやあざなどのメラニン色素のみに反応して色素を破壊する医療用のレーザー

レーザーを照射する前に一度外来（火曜日～金曜日）で診察を行い、レーザー照射は水曜日の午後に行います。ご紹介、お待ちしております。
料金等、詳細は当院HPをご覧ください。

腎センターからの3つの宣言

腎センターでは、維持透析患者、透析導入患者、他の診療科に入院中の透析患者の透析を行っています。

腎臓内科部長
腎センター長
副病院長 古谷 隆一



1. 専門医療を的確に提供します

透析専門医が日常の患者管理を行っています。しかし、透析患者は心血管疾患、脳血管疾患、末梢血管疾患などの合併頻度が高く、感染症にもかかりやすい状態となっています。また、癌の発生率も高く、透析特有の合併症もあります。これらを発症した場合には院内の専門医が迅速に対応し適切な治療を行います。

2. できない血液浄化はありません

急性腎障害に対する急性血液浄化、膠原病や神経疾患などに対する血漿交換、炎症性腸疾患に対する顆粒球除去など、ほとんどすべての血液浄化療法を行っています。



腎臓内科病棟所属の看護師



透析中の様子

3. みんな「透析医療に携わる医療者」です

腎センターには臨床工学技士が多く配置されています。彼らは、透析機器の管理やトラブル時の対応だけでなく、透析患者の医学的な状態や社会的問題まで把握しています。また、看護師は腎臓内科病棟に所属するため、腎センターと病棟でシームレスな看護や患者教育を行い、透析機器の操作にも習熟しています。臨床工学技士と看護師は、それぞれの専門性だけではなく「透析医療に携わる医療者」という意識を持って業務を行っています。

インフルエンザの季節になりました

予防接種は「かかりつけ医」で！！

当院では、10月9日（火曜日）からインフルエンザの予防接種を実施しています。時間は月曜日から金曜日の午前8時15分から午前10時30分までです。予防接種の対象は当院へ通院の方に限っており、かかりつけ医が当院以外の方は原則としてかかりつけ医で行うようご案内しております。

小児科での予防接種

小児科でのインフルエンザ予防接種については、木曜日の午後2時30分から午後3時30分までの予約制です。主としてハイリスク児やアレルギーがあって、かかりつけ医では接種が困難なお子さんを優先して行っていますので、あわせてご理解の程、よろしくお願いいたします。

台風24号被害に対する対応

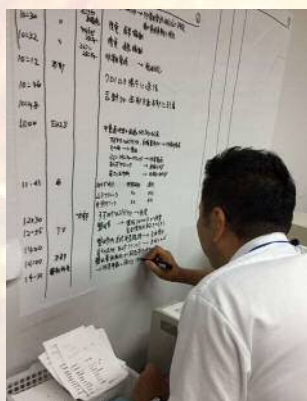
ー有事の情報ネットワークについてー

第2医療部部長
消化器外科部長
救命救急副センター長 落合 秀人



多くの医療機関で業務障害が発生

今年9月30日～10月1日未明にかけて静岡県に最接近した台風24号の暴風雨により、県西部を中心に約65万戸の大規模停電が発生しました。当院は健診センターを除き通常業務が可能でしたが、市内の多数の医療機関で業務障害が発生しました。



院内対策本部でクロノロジーを使って近隣病院の情報収集をしている様子

通信網の脆弱が露に

今回クローズアップされたのは有事の情報ネットワークの重要性です。固定電話やFAX等が使用出来ない状況での他施設との連携は非常に困難でした。また、インターネットを用いた、FUJISAN（ふじのくに防災情報共有システム）やEMIS（広域災害救急医療情報システム）に関しても、各医療施設での入力状況は芳しくありませんでした。

LINEによる個別ネットワーク

当院では、特に中東遠地域の透析患者さんのマネジメントについて、スマートフォンアプリの「LINE」を用いた個別のネットワークによる対応ができました。迅速な対応が可能であり、非常に有用でした。

3日には大部分の施設で通常業務へ

災害拠点病院として、1日朝より院内対策本部を立ち上げ、①被害状況の情報収集②他医療機関からの患者さんや、在宅呼吸器使用患者さんの受け入れ対応をいたしました。県西部保健所、市役所、医師会を含めた関係各所の御尽力により、大きな混乱なく3日には大部分の医療施設の業務障害が改善されました。

有事の情報ネットワーク強化

南海トラフ地震などの大規模災害において、今回有効であった通信手段が機能するかどうかは疑問です。既存のネットワークの最大限の有効活用とともに、更に有事に機能するネットワーク構築が急務と考えます。

年末年始休診のお知らせ

当院は、平成30年12月29日(土曜日)から平成31年1月3日(木曜日)まで休診となります。

ご理解ご協力をお願いします。

新任・退任医師のお知らせ

11月30日付で退任する医師および、12月1日付で赴任する医師はおりません。



平成30年10月 統計データ

地域医療支援病院としての取り組み

初診患者数	紹介患者数 紹介率		逆紹介患者数 逆紹介率		退院時共同 指導科2	共同診療		歯科口腔外科 休日診療	地域連携小児 休日診療		
	単純	造影	心臓	MRI		シンチ	心エコー		胃カメラ	胃瘦腸瘦	シムプラント
1,617人	1,274人 78.7%		1,324人 81.8%		21件	3件		2人	0人		
受託検査 件数	CT			MRI	シンチ	心エコー	胃カメラ	胃瘦腸瘦	シムプラント		
	単純	造影	心臓								
	59	15	9	98	3	0	11	1	0		
連携バス 件数	脳卒中	大腿骨	COPD	臍のう胞	橈骨遠位 端骨折	がん					
						肝	胃	大腸	肺	乳	前立腺
	6	14	1	0	5	0	1	0	0	4	3

診療統計

外来患者数	入院患者数	病床利用率	平均在院日数
25,438人	13,765人	88.8%	12.3日
手術数	分娩数	救急受診者数	救急搬送件数
412件	73件	1,409人	441件
		救急搬送入院率	36.5%

認知症疾患医療センターについて(平成30年10月末現在)

予約から初診までの日数(直近1ヶ月)	鑑別診断件数	全紹介件数
約30.6日	8件	40件

症例検討会等ご案内

平成30年12月・平成31年1月の予定

CPC*	12月 6日(木)午後5時30分	周産期センター 会議室5南
磐田消化器症例検討会	12月17日(月)午後7時	当院2階 講堂
磐田心肺研究会	1月22日(火)午後7時	当院3階 中会議室

12月の磐田心肺研究会、1月の磐田消化器症例検討会の開催はありません。

乳腺カンファレンスおよび認知症に関する勉強会の予定はありません(11月現在)。

CPC*・・・普段と開始時間が異なりますのでご注意ください



発行：磐田市立総合病院 地域医療連携室
〒438-8550 磐田市大久保512番地3
Tel 0538-38-5000(代表)
Fax 0538-38-5050
<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>